



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年1月24日

上場会社名 ニデックオーケー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6205 URL <https://www.nidec.com/jp/nidec-okk/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 森本 佳秀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 芝田 雄輝 (TEL) 072-771-1159
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,578	69.1	324	—	382	—	516	—
2022年3月期第3四半期	9,212	17.1	△978	—	△927	—	△1,465	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 661百万円(—%) 2022年3月期第3四半期 △1,590百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	21.72	—
2022年3月期第3四半期	△185.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	38,173	13,661	35.8
2022年3月期	32,784	12,995	39.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 13,648百万円 2022年3月期 12,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	21,600	56.6	600	—	600	—	600	25.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) OKKテクノ株式会社

(注) (添付資料) 7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結損益計算書関係)をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	24,000,000株	2022年3月期	24,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	216,237株	2022年3月期	220,413株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	23,781,476株	2022年3月期3Q	7,923,260株

- (注) 役員向け株式給付信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(四半期連結損益計算書関係)	P 7
(追加情報)	P 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、インフレ率の高止まり傾向など不透明な状況の中、世界的なウィズコロナ政策の定着により緩やかな回復がみられたものの、需要については厳しい環境が継続しました。

当社の主力である工作機械の受注動向では、米国においては、金融政策の引き締めを背景として製造業の景況感は減速基調にあり、欧州においては地政学的リスクの長期化による景気減速の懸念により回復の遅れがみられました。

中国においてはゼロコロナ政策による活動規制の影響で内外需とも力強さに欠ける展開が続きました。12月上旬にはゼロコロナ政策の緩和が公表されましたが、景気への影響が明確になるのは2023年初旬と予想されています。

我が国の経済においては、部品・部材不足による工作機械の長納期化などが続いておりますが、半導体関連など、受注は堅調に推移いたしました。

このような状況下、4年ぶりのリアル開催となったJIMTOF2022（日本国際工作機械見本市）では、日本電産グループとしての初めての出展であり、グループ企業である日本電産マシンツール株式会社と共同のブースで出展し、多くの来場者の注目を集めました。当社の出展機では、新製品の5軸制御横形マシニングセンタ「HM-X6100」および5軸制御立形マシニングセンタ「VB-X650」が海外からの来場者の高い関心を集めました。また、「VM43R II」では実切削のデモ加工により加工能力をアピール、「VM53R II + CRASYS」、「VP600GC」では、それぞれロボットをドッキングし自動化・省力化の提案を行いました。これらのマシニングセンタ5機種に加え、「周辺支援機能」として遠隔地から操作が可能なNet Monitorリモート機能などを出展、当社の技術力をアピールして拡販に努めました。

また、国内各地で開催された展示会において、主力の立形マシニングセンタ「VM43R II」、「VM53R II」を出展して積極的な営業活動を展開し、営業担当者一人ひとりが月120件の顧客訪問を行うなど、新規顧客、既存顧客にとらわれず潜在ニーズを引出して更なる受注拡大に努めました。

当社の第3四半期連結累計期間は、これらの積極的な受注活動と、日本電産グループ企業となったことによるグループ企業間でのシナジー効果、また徹底した経費削減等により、業績の改善を図りました。しかしながら、原材料費高騰による部材調達価格への影響、運送費の高騰、増産体制構築に伴う人件費の増加等により、利益は低調に推移しました。

これらの結果、売上高は15,578百万円（前年同期比69.1%増）となり、営業利益は324百万円（前年同期は営業損失978百万円）、経常利益は382百万円（前年同期は経常損失927百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は516百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,465百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は38,173百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,389百万円の増加となりました。これは主に、棚卸資産の増加3,752百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加1,111百万円、電子記録債権の増加606百万円などによるものであります。

負債は24,511百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,723百万円の増加となりました。これは主に、借入金の増加2,486百万円、電子記録債務の増加1,118百万円、支払手形及び買掛金の増加1,042百万円などによるものであります。

純資産は13,661百万円となり、前連結会計年度末と比較して665百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上516百万円、為替換算調整勘定の増加220百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては、2022年10月24日に公表いたしました数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,155	1,235
受取手形、売掛金及び契約資産	4,458	5,570
電子記録債権	514	1,120
棚卸資産	7,265	11,018
CMS預け金	5,586	5,331
その他	403	631
貸倒引当金	△126	△137
流動資産合計	19,259	24,771
固定資産		
有形固定資産		
土地	10,770	10,777
その他(純額)	1,107	1,223
有形固定資産合計	11,878	12,001
無形固定資産		
	91	96
投資その他の資産		
投資有価証券	1,052	883
その他	516	435
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	1,554	1,304
固定資産合計	13,524	13,402
資産合計	32,784	38,173
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,475	2,517
電子記録債務	747	1,866
短期借入金	8,149	10,663
未払法人税等	73	98
賞与引当金	54	63
製品保証引当金	27	32
その他	1,017	1,383
流動負債合計	11,545	16,626
固定負債		
長期借入金	569	541
再評価に係る繰延税金負債	3,147	3,147
退職給付に係る負債	3,842	3,634
その他	683	562
固定負債合計	8,242	7,885
負債合計	19,788	24,511

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,022	9,022
資本剰余金	4,205	4,205
利益剰余金	△7,724	△7,212
自己株式	△453	△444
株主資本合計	5,050	5,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	414	338
土地再評価差額金	7,144	7,144
為替換算調整勘定	258	478
退職給付に係る調整累計額	116	115
その他の包括利益累計額合計	7,933	8,077
非支配株主持分	11	12
純資産合計	12,995	13,661
負債純資産合計	32,784	38,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	9,212	15,578
売上原価	6,828	11,158
売上総利益	2,383	4,419
販売費及び一般管理費	3,362	4,095
営業利益又は営業損失(△)	△978	324
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	39	33
為替差益	9	41
雇用調整助成金	189	—
売電収入	19	21
その他	19	10
営業外収益合計	278	110
営業外費用		
支払利息	111	22
資金調達費用	95	—
株式交換費用	—	22
その他	19	6
営業外費用合計	227	52
経常利益又は経常損失(△)	△927	382
特別利益		
固定資産売却益	2	4
投資有価証券売却益	105	115
事業譲渡益	—	327
特別利益合計	107	448
特別損失		
投資有価証券評価損	15	—
固定資産処分損	0	1
投資有価証券売却損	7	—
過年度決算訂正関連費用	605	—
災害による損失	0	—
退職給付費用	—	87
特別損失合計	629	89
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,449	741
法人税、住民税及び事業税	49	96
法人税等調整額	△32	128
法人税等合計	16	225
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,466	516
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,465	516

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,466	516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△176	△75
為替換算調整勘定	51	221
退職給付に係る調整額	0	△0
その他の包括利益合計	△124	145
四半期包括利益	△1,590	661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,589	660
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

特別損失に計上している退職給付費用は、2022年6月30日付でOKKテクノ株式会社を吸収合併したことによる退職給付に関する会計処理の影響によるものであります。

(追加情報)

(株式交換契約の締結)

当社は2022年12月12日開催の取締役会において、当社の上場親会社である日本電産株式会社を株式交換完全親会社とし、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日両社間で株式交換契約を締結いたしました。

なお、本株式交換の効力発生日（2023年3月1日予定）に先立ち、当社の普通株式は、2023年2月27日付で上場廃止（最終売買日は2023年2月24日）となる予定です。

詳細につきましては、同日公表の「日本電産株式会社によるニデックオーケー株式会社の子会社化に関する株式交換契約締結（簡易株式交換）のお知らせ」をご参照ください。